

雪の富士山を展望して歩く 甲府 ^{かぶとやま} 兜山

山行日 2021年10月23日(土)

参加者 L I原、SL S藤(e)、N宮、I崎、Y田(m)、W辺(k)、M山(記)

行程 春日居町駅 9:20—登山口(花火工場下) 10:10/10:20—兜山 11:45
—同展望台 11:50/12:10—神峰南尾根鞍部 13:05—車道出合 13:20
—駐車場 13:55/14:00—(山道)—登山口 14:25—春日居町駅 15:50
歩程 6時間

車中からコロナ禍の中久しぶりの顔合わせで話が弾みました。

いよいよ甲府盆地の無人駅春日居町駅から出発。

正面にこれから登る兜山(まさにカブトを伏せたような山です)を望みながら歩く。

町中を外れるとブドウ、モモ、キウイと続く果樹園の中を歩く。

果樹園を抜けた通りには岩下温泉という山梨最古の温泉がありました。高層階の建物の脇には古風で趣のある建物があり日帰り温泉が楽しめます。

その先からいよいよ樹林帯の登山道です。

尾根近くまで登ると岩場が目立ち始め、壁の前では二人がクライミング途中。少し登ったところで上からヘルメット、腰にはカラビナ、スリングを付けた外国人が降りてきた。

声をかけると立派な日本語でアメリカからとのこと、クライミング場所を探していた。先ほどの壁を知らせた。

岩場場面を過ぎて、尾根を上り詰めるとようやく山梨100名山兜山頂上に乗り上げることができた。

圧巻だったのは数分ほど降りた展望場所でした。下に甲府盆地が広がり、その先正面に山並みを前にして雪を付けた富士山の頭がくっきりと望むことができた。この数日前に降った雪とのこと。絶景にしばし佇んだことでした。

この景色を望みながらの昼食は格別。春には桃色に染まる甲府盆地も望めるとのこと、また来てみたい。

帰りはなぜか兜山より標高の高い無名の場所を通り下山、大きく回り込んで元の登山口に着いた。

駅近くの趣のある喫茶店で反省会を持ったのもいい思い出でした。

